



第32回

Asian Party

FUKUOKA PRIZE 2022

福岡アジア文化賞 市民フォーラム

大賞受賞者

林 英哲氏

(日本／太鼓奏者)

和太鼓
演奏あり

魂の響き—林 英哲・太鼓の世界



Photo:S.Oguma

2022.9.28(水) 19:00-20:30

電気ビル共創館 みらいホール

※アーカイブ配信:10.3(月)~11.2(水)

参加・視聴無料
(要申込)

市民フォーラム

参加・視聴無料
(要申込)

2022.9.28(水) 19:00~20:30 電気ビル共創館 みらいホール
アーカイブ配信:10.3(月)~11.2(水)

魂の響き—林 英哲・太鼓の世界

ワールドミュージックとして初めて世界に認知された日本の太鼓音楽、その創成期から最先端をつねに走り続けてきた林英哲氏。その表現の多様性やパフォーマンスの質の高さには他の追従を許さないものがあります。第1部では、日本の太鼓の伝統と林氏が新たに生み出した表現の独創性について、実演も交えながらご本人に解説していただきます。第2部ではライブ演奏をお楽しみいただきます。

第1部 レクチャー・デモンストレーション「日本の太鼓、英哲の太鼓」

第2部 ライブ「千年の寡黙 2022スペシャルVer.」

作曲・構成・独奏: 林 英哲

独演「千年の寡黙」は、林英哲氏が手探りしながら独奏者として歩き始めた3年後の1985年に初演した、おそらく世界初の「日本の太鼓による全曲独奏」の作品です。98年モスクワ・チャイコフスキーホール、2000年ベルリン・フィルハーモニーホール、2016年の国立劇場開場50周年記念公演などでも演奏され、林氏にとって独奏者としてのライフワーク的作品です。

和太鼓
演奏あり

大賞受賞者

林 英哲 HAYASHI Eitetsu
(日本/太鼓奏者)

新しい創作太鼓音楽の最先端を走り続けてきた
世界的に活躍する太鼓奏者

地域の祭礼や行事と結びついた伝統的な太鼓文化を基盤としつつ、身体所作の力強さと美しさを伴う全く新しい舞台芸術として太鼓の表現を飛躍的に発展させる。世界有数の交響楽団や様々なジャンルのアーティストと共演。世界規模で活動が続け、新たな表現を通して日本文化の国際発信に挑んでいる。また、演奏だけでなく、作曲、舞台の演出にも卓越した手腕を発揮し、これまでになかった独創的な太鼓音楽の様式を築き上げ、今なお進化し続けている。



福岡アジア文化賞

アジア地域の優れた文化の振興と相互理解及び平和に貢献するため、1990年に、福岡市及び(公財)福岡よかトピア国際交流財団が創設。アジアの固有かつ多様な文化の保存と創造に顕著な業績を上げた方々を顕彰している。これまでの受賞者は118名を数え、今なお世界中で活躍を続けている。

イベント参加申込

8.1(月)から受付開始!

お問い合わせ先/E-mail 32acprize-pl@convention.co.jp

申込締切

会場参加: 9.14(水)

※会場参加は定員を超えて申込みがあった場合は抽選

アーカイブ配信: 9.29(木)

▼お申込みは
コチラ



主催: 福岡市/(公財)福岡よかトピア国際交流財団
協力: (公財)福岡市文化芸術振興財団